

## 新殺菌剤

### エキナイン顆粒水和剤

エキナイン顆粒水和剤は、米国デュポン社が開発したシモキサニルとクミアイ化学工業株式会社が開発したベンチアパリカルブイソプロピルの混合剤です。両社の合意の下で日本曹達株式会社が開発を進め、平成19年8月1日に農薬登録を取得致しました。本剤は、バレイショ疫病に優れた防除効果を発揮します。(詳細は本文をご参照ください。)



新発売

## 新製剤

### トップジンM粉剤DL

トップジンM粉剤DLは、日本曹達株式会社が開発したチオファネートメチルを有効成分とするドリフトレス(DL)タイプの粉剤で、平成20年2月6日に農薬登録を取得致しました。本剤は、従来品に比べ粉立ちや飛散が大幅に軽減されています。(詳細は本文をご参照ください。)



新発売

## 目次

|                                                                      |       |
|----------------------------------------------------------------------|-------|
| トップジン剤 上市40周年を迎えて<br>伊藤 英治 (Eiji Itoh)                               | 1     |
| 水稻におけるいもち剤の現状と<br>トップジンMの位置付けについて<br>武田 敏幸 (Toshiyuki Takeda)        | 2     |
| 麦類赤かび病の防除を通じて食品の<br>安全性確保に貢献するトップジンM<br>中島 隆 (Takashi Nakajima)      | 8     |
| 福島県におけるリンゴ褐斑病の防除と<br>トップジンM水和剤<br>菅野 英二 (Eiji Kanno)                 | 12    |
| 長野県におけるリンゴ腐らん病防除対策と<br>トップジンMペースト<br>飯島 章彦 (akihiko Iijima)          | 15    |
| 北海道におけるマメ類菌核病および<br>灰色かび病の防除とトップジンM水和剤<br>清水 基滋 (Motoshige Shimizu)  | 22    |
| 農薬時代電子化・付録DVD・トップジン系薬剤<br>関連記事一覧<br>農薬時代編集部                          | 28    |
| モスピラン(アセタミプリド)の<br>ミツバチに対する低毒性機構<br>岩佐 孝男 (Takao Iwasa)              | 30    |
| モスピラン水溶剤のリンゴ害虫に対する<br>作用特性と防除効果<br>花井 大輔 (Daisuke Hanai)             | 37    |
| 〔新製品紹介〕<br>●(殺菌剤)エキナイン顆粒水和剤<br>原本 雅昇 (Masahiro Haramoto)             | 43    |
| ●(殺菌剤)トップジンM粉剤DL<br>横田 因 (Chinami Yokota)<br>田辺 憲太郎 (Kentaro Tanabe) | 47    |
| 「途中下車」<br>中国・上海 モモ事情<br>森谷 修 (Osamu Moriya)                          | 49    |
| 表紙写真                                                                 | 古口 正巳 |
| 表紙解説                                                                 | 並河 治  |
| 表紙構成                                                                 | 杉浦 隆  |

〈表紙〉

ハス

*Nelumbo Nucifera*

スイレン科

ハスの化石は新生代第3紀層から発見されているので人類の出現より早い。インド原産ということだが本当だろうか。花を觀賞するハスは花バスと言うが、食用のハスと同じ。表紙の花は桜蓮と思うが全く自信はない。花バスの品種改良と鉢植えが近年静かなブームを起こしている。不忍池のハスは江戸時代のアベックが出合茶屋の戸を少し開けて楽しんだそうだ。